自治会の目的

隣人愛と相互扶助の精神を基調とし、地域住民の親睦と団結を図りつつ社会環境の浄化向上に努め、明るく住みよいまちづくりに寄与する。

自治会報

発　行　中志津自治会
発行責任者　会　長　長谷川　稔
編集責任者　事務局長　杉崎昭之助
所 在 地　佐倉市中志津3-17-2
自治会センター内
電話（043）487－4894
http://www.nakashidu.sakura.ne.jp/

新型コロナから命守る行動を

自治会長
長谷川　稔

昨年末中国武漢で発症した新型コロナウイルス感染拡大問題は、5月初旬で日本はもとより世界210ヶ国の地域に感染が拡大され、世界の感染者は335万人を突破し、死者数も24万人を超えたと報道されていました。

2020年が明けたとき、今の日本、世界をだれが想像しただろう。新型コロナウイルス感染に人々はおびえ、経済は沈み込み、社会は身動きが止まり、この危機をどう乗り越えていったらいいか。何処で感染するかわからない、薬もない、感染のペースは速い。4月7日には「緊急事態宣言」が発令され東京都など7都道府県に外出自粛要請（人の接触8割減らす）が5月6日までの1か月間出され、更に延長されました。

急速な新型コロナウイルス感染は大変怖い、どの世代も感染する、感染爆発、医療崩壊も現実ささやかれている。

現在も不要不急の外出は自粛です。手洗いと嗽しかない、命は自分で守るしかありません。コロナに気を付けましょう。

佐倉市も感染者が30人出ました。公共施設の貸し出しの制限をし、大切な行事・会議等も中止しています。

自治会でも「緊急事態宣言」を受け緊急会議を開催し、感染拡大防止対応・行事・会議等含め協議（会議の中止。夏祭りの中止・自治会館の全館閉館）を決めました。

さて、中志津自治会では本年の定期総会について2月29日緊急臨時合同会議（本部役員・各区長）をお願いし、国難まで発展した新型コロナウイルス対策を考えた総会にしたいと提案しご理解をいただく。3月14日にも合同会議を開催し、定期総会の運営・各議案・表彰等一切の協議を重ねる。4月18日表決書面状の集計作業を行い、第1号議案から第6号議案の各議案について原案どおりの承認をいただいたという例年にない運びとなりました。

本年は、当初年間の大きな事業として4本の柱を考えました。①夏祭り（御輿・花火の打ち上げを計画しましたが中止）。②スポレク祭。③秋祭り（文化祭・福祉まつり）地区社協と共催。④元旦餅つき大会（令和2年元旦実績1300名参加）。上記の4事業を基軸に高齢者・子育て支援、空き家を利用した地域拠点づくり、干場公園の活用等々に努力してまいります。

また、佐倉市をはじめ、特別顧問・地区社協・包括支援センター・近隣自治会・活動諸団体グループ等々と連携を密にし、会員皆さんのご支援・ご協力をいただきながら諸活動を推進してまいります。

令和2年5月2日

令和二年度定期総会

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため表決書面状での総会となりました。

四月十八日（土）に自治会センターにて表決書面状の集計作業が実施されました。

会員総数七千十名（三月末現在）の内、有効表決書面状提出数は六千四百九十六名で、会則に定める「会員の過半数」を超え総会は成立しました。

集計の結果、

一号議案　令和元年度活動報告
二号議案　令和元年度決算報告
三号議案　令和元年度監査報告
四号議案　令和二年度活動計画（案）
五号議案　令和二年度予算（案）
六号議案　令和二年度本部役員選任

の各議案は提案通り承認されました。

総会開催にあたって、短期間での議案書の各戸配布・表決書面状の回収には各区班長の皆様に、そして表決書面状の集計には総会管理委員会の皆様に特段のご協力を頂きました。感謝申し上げます。

令和元年度決算について

令和元年度の経常収入合計二千六百二万円に対し、経常支出合計二千百四万円で経常収支差額四百九十七万円の黒字決算でありますが、自治会センターロビーの利便性を考慮した改修工事に伴う固定資産取得があり、当期収支差額は四百三十七万円の黒字決算となりました。

その結果、前年度繰越額を上回る七千二百十九万円が来期への繰越金として計上されました。

令和二年度予算について

令和二年度の経常収入合計二千五百九十九万円に対し、経常支出合計は二千四百十三万円で百八十六万円の黒字の予算になっております。

予算の内訳を昨年度決算と比べると収入の部は、ほぼ同額となっております。支出の部は、花火大会開催の年ですので、昨年度決算に対し、三百八万円の増加となります。

その他はほぼ昨年度並みの内訳となっております。

収支計算書　（単位：千円）

科目	令和元年度決算（A）	令和2年度予算（B）	前年対比（B）－（A）
経常収入合計	**26,022**	**25,990**	**▲ 32**
（内訳）			
基本財産等運用収入	6,146	6,125	▲ 21
会費収入	17,643	17,641	▲ 2
市補助金等収入	1,462	1,446	▲ 16
手数料・寄付金等収入	772	778	6
経常支出合計	**21,047**	**24,130**	**3,083**
（内訳）			
行事費	3,192	6,172	2,980
区活動費	6,682	6,678	▲ 4
弔慰金	930	930	0
事務局費及び事業費	6,609	6,707	98
総会費	986	948	▲ 38
センター維持費	2,162	1,970	▲ 192
賛助金等その他	484	725	241
経常収支差額	**4,976**	**1,860**	**▲ 3,116**
固定資産取得費	605	0	▲ 605
当期収支差額	**4,371**	**1,860**	**▲ 2,511**
前期繰越金	**67,821**	**72,192**	**4,371**
次期繰越金	**72,192**	**74,052**	**1,860**

世帯当り表決書面状提出集計

	3月末会員世帯数	表決書面状提出世帯数	提出率
1区	379	366	96.6%
2区	382	355	92.9%
3区	429	399	93.0%
4区	379	370	97.6%
5区	386	369	95.6%
6区	400	385	96.3%
7区	338	305	90.2%
総計	2,693	2,549	94.7%

賛助会員を除く

（3月末現在）

会員数	7,010人
会員世帯数	2,723世帯
非会員世帯数	418世帯
世帯加入率	86.7%

令和二年度功労者表彰

この度、区役員として当自治会にご尽力された方々が退任することになりました。多年にわたり自治会活動に携わり貢献された皆様には厚くお礼申し上げます。

【区退任者】（敬称略）

登坂　一行（一区区長）
細山　治秀（一区副区長）
楠　鶴与（一区会計）
樋熊　恵子（一区副区長）
西野　秀男（三区会計監事）
山本　紀生（五区副区長）
神崎　紘（七区副区長）
大越　育郎（七区副区長）